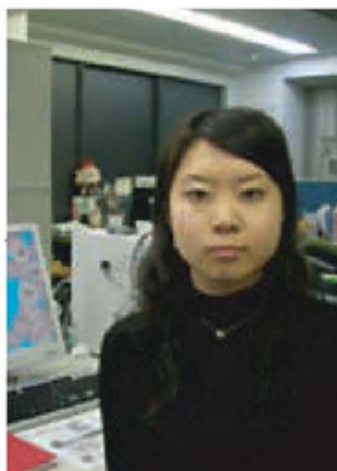


イベントの一連の流れを 実践したことが、 仕事の役に立っている



3期生
イベント
デザインゼミ専攻
(現：桑田ゼミ)

- 名前
松田莉那
- 出身地
石川県金沢市
- 観光デザイン学科の志望動機
イベントデザインコースがあったので。
- こんな仕事をしています
各種イベント制作・企画・演出・運営
のアシスタントディレクター

大学では、「イベント」とは何
かの目的を達成するための手段で
あると学びました。例えば、私が
実際に関わった京都の北野商店街
でのイベント『北野のひかり』で
は、「商店街の活性化」が目的でし
た。そこで、子どもたちが自分た
ちの住んでいる地域を知り、誇り
を持つことが地域活性につながる
と考えました。

まずは子どもたちに、商店街で
職場体験してもらいました。次
にその時の気持ちやお店の人の笑
顔、町の様子を描き、その絵で提
灯を制作。地域の宝Ⅱ「光」と考
えました。最後は、照明を展示し、
地域の宝を発表するイベントを実
施。たくさんの北野の宝が集まり、
京都テレビでも紹介されました。
イベントの本番だけでなく、準備
段階のプロセスにも意味を持たせ
たのがよかったです。

現在、仕事ではプロバスケット
ボールの試合やフアッションショー
の演出をしています。全体の運営
マニュアルや台本を制作し、本番
の進行もしています。大学時代に
培ったイベントの考え方をベース
に、自分が携わったイベントで、
お客様に笑顔で楽しんでいただけ

るようなエンターテイメント性の
高いイベント作りを目指していま
す。



商店街活性イベント『北野のひかり』。小学校に出向き、描き方のコツもアドバイス。商店街の会館で約50個の「北野の宝もの」を提灯として展示。